

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	高齢者における入院後の経口摂取開始から誤嚥性肺炎発症までの臨床的特徴 - 単一施設の後向き研究 - (倫理委員会承認番号：454)
当院の研究責任者 (所属)	古川 大輔 (リハビリテーション科 言語聴覚室)
本研究の目的	経口摂取開始後の発熱は、誤嚥性肺炎が疑われやすく、解熱するまで絶食管理となりやすいのが現状です。絶食期間は原疾患の治療期間を延長し、嚥下機能自体も低下させると言われています。 本研究の目的は、経口摂取を継続するかどうかの判断材料を得るために、経口摂取開始後に発症した誤嚥性肺炎と他の感染症を比較し、誤嚥性肺炎の特徴を明らかにすることです。
調査データの 該当期間	2014年4月から2019年3月
研究の方法 (対象となる方)	該当期間に当院に入院され、言語聴覚士による嚥下評価を受けられた患者さま
研究の方法 (使用する情報)	診療録情報(年齢、性別、基礎疾患、既往歴、身体所見、検査所見、経口摂取の状況など)
個人情報の取扱い	収集したデータは匿名化した上で解析し、厳正に管理します。本研究で知り得た情報は研究以外の目的には一切使用せず、研究結果を学会・医学雑誌等で公表する場合にも個人が特定されないようにいたします。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室

	言語聴覚士 古川 大輔 電話:0438-36-1071 内線 (6731)
備考	